

小原宿の概要



小原宿本陣



伊勢屋(宿場時代の脇本陣)



永楽屋(宿場時代の旅籠)

小原宿は甲州街道の宿場で、
上り(京都)方面の旅人のみを泊めた
片継ぎの宿場である。

神奈川県唯一、本陣が残っていて、
県の重要文化財にも指定されている。

また、明治時代の養蚕民家の形式の
古民家も現存している。

地域活動

小原宿本陣祭

1993年から始まった祭りで、
神奈川県指定重要文化財の本陣を地域の活性化につなげるとともに、
江戸時代の歴史文化を後世に伝えていくために開かれている。



大名行列



大名行列



本陣太鼓

撮影：相模湖まちづくりセンター

小原宿ライトアップ

小原宿をライトアップすることで魅力を伝える
と同時に現状も知ってもらうことで
本陣修復に協力を促すために開かれている。



撮影：相模湖まちづくりセンター

小原宿では小原宿本陣祭や小原宿ライトアップのイベントにて、小原宿の歴史を伝え、建造物保存に努めている。

課題

本陣のマツクイムシによる被害や耐震補強の筋交



本陣の老朽化を修復には多額の費用がかかることから、今後の歴史的建造物の保存に課題がある。

敷地説明

甲州街道工事



小原の郷（歴史資料館）



朝市（毎週日曜）



休憩所（ドライバー・ハイキング客）

甲州街道工事によってできた、小原宿入り口に位置する敷地は、
現在「小原の郷」という歴史資料館がある。
ここはハイキング客や自動車の運転手がトイレ休憩としても利用している場所で、
その他、朝市やイベントなどが行われている。